

デジカメ撮影機能

11月

FUNCTION

記録画素数
画質モード

美しくプリントできる写真を撮ろう

11月1日から、いよいよ年賀状が発売となりましたが、今年の年賀状はどうされますか？デジカメユーザーなら、ぜひとも自分で撮った写真を使って、オリジナル年賀状にしたいものですよね。そんなとき、ポイントとなるのが、記録画素数と画質モード。えっ、そんな言葉は知らないですって？でしたら、ぜひこの機会にフォト美と一緒にマスターしてしまいましょう。

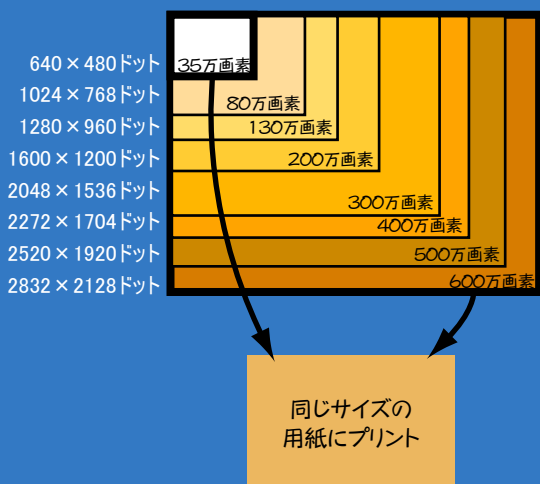
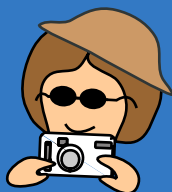


【今回使用したカメラ】 COOLPIX 4300 (Nikon)

Step 1

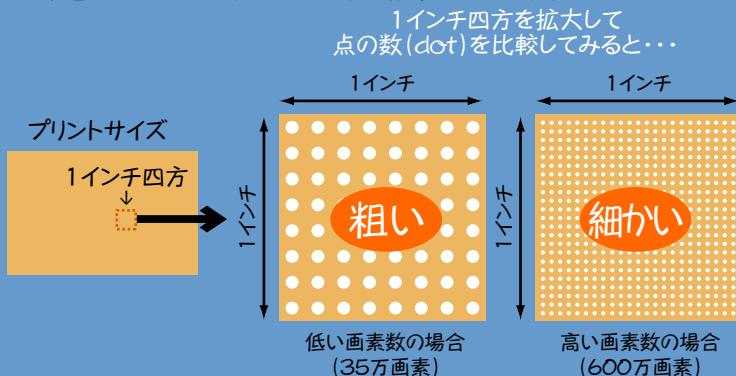
記録画素数とは画像のサイズのこと

来年の干支は未(ひつじ)。
そこで、フォト美とはある牧場に行き、年賀状用にヒツジの写真の撮ることにしました。ところで、ここで重要なのは記録画素数の指定です。
「記録画素数」とは、撮影する画像のサイズのこと。必ずしも、デジタルカメラのスペックとして表示されている画素数(「200万画素CCD」など)というわけではなく、撮影する際に指定し、それによって記録された画像のサイズをいいます。
あまり低い画素数で撮影してしまうと、十分なプリント画質を得られず、キレイな仕上がりにならない場合があります。
下図のように、640×480dot(35万画素)で撮影したものと、2832×2128dot(600万画素)で撮影したものを、同じサイズ用の紙いっぱいにプリントする場合、どの程度の違いが生じるのか、比較してみましょう。



Challenge

■画素数が高いほど、画質はきめ細かくなります
それでは、640×480dot(35万画素)で撮影された画像と2832×2128dot(600万画素)で撮影された画像の画質を比較してみましょう。
それぞれをハガキいっぱい(1インチ角)にプリントし、その1インチ角の中に存在する点の数を比べてみると、以下のような結果になります。



■画素数が高いほど、画質はきめ細かくなります
それでは、640×480dot(35万画素)で撮影された画像と2832×2128dot(600万画素)で撮影された画像の画質を比較してみましょう。
それぞれをハガキいっぱい(1インチ角)にプリントし、その1インチ角の中に存在する点の数を比べてみると、以下のような結果になります。



Step 2

プリント画質は300dpi以上が目安

さて年賀状(ハガキ)全面にプリントする場合、いくつの画素数に設定して撮影するのが最適なのでしょうか？

それを決めるにあたり、「画像解像度」とその単位である「dpi (ドット・パー・インチの略)」についてカンタンにご説明します。

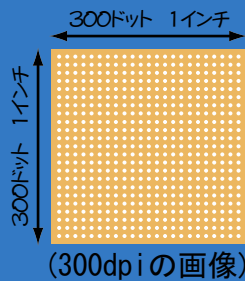
1インチに配列する点(ドット)の数

⇓

画像解像度(単位: dpi)

↓

プリントには300dpi~400dpiが適当



つまり、デジカメ画像をプリントするためには、少なくとも300dpiの画像解像度が必要と考え、そこからプリントサイズに応じた記録画素数を割り出す必要があります。

Study

■プリントサイズ別 最適な画素数

(画像解像度を300dpiとした場合)

ハガキ全面にプリントするなら、200~300万画素に！

プリントサイズ	最適な画素数	
5×4cm程度(証明写真)	640×480	約35万画素相当
9×6.5cm程度(名刺)	1024×768	約80万画素相当
11×8cm程度(DSC/L)	1280×960	約100万画素相当
13.5×10cm程度(ハガキ)	1600×1200	約200万画素相当
17×13cm程度(DSCW/2L)	2048×1536	約300万画素相当
19×14cm程度(B6判)	2272×1704	約400万画素相当
21×16cm程度(A5判)	2520×1920	約500万画素相当
24×18cm程度(B5判)	2832×2128	約600万画素相当

おすすめモード



300dpiの画像解像度で、ぎめ細かいプリント仕上がりになるよ



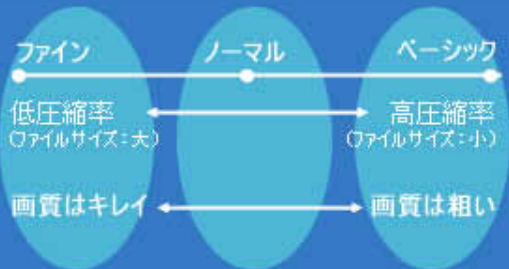
400万画素デジカメの設定画面
ハガキサイズなら、1600以上に設定しよう

※プリントサイズに対して300dpi以上の解像度をもつ画像なら、ネットプリントサービスや店頭でのデジカメプリントでも十分な画質で仕上がります。

Step 3

画質モードも画像の美しさに影響大

つぎに、画質モードを設定します。
この「画質モード」とは、デジタルカメラで撮影した画像をメモリーカードにJPEG形式のファイルとして記録するとき、その圧縮の度合いを設定するモードです。通常、デジタルカメラには「ファイン」「ノーマル」「ベーシック」といったように、数段階に圧縮する度合い(以降「圧縮率」といいます)を変えたモードを選べるようになっています。
この圧縮率と画質の関係は、つぎの通りです。



Study

■美しくプリントしたいなら「ファイン」モードで撮ろう
実際に、各画質モードで撮影し、それぞれを比較してみると一目瞭然。やはり、画質を追求するなら、多少ファイルサイズが大きくても「ファインモード」で撮影するのがオススメです。



おすすめモード

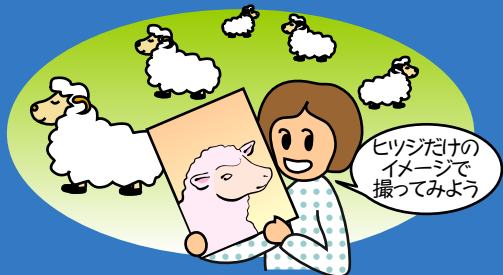
圧縮率は最も低い ため、画質はキレイです。 この程度の圧縮なら、 肉眼ではほとんどわ かりません。	圧縮率は中レベル。 部分的に圧縮による 画質の劣化を判別で きます。	圧縮率は最も高いた め、画質はかなり劣化 してしまいます。 しかし、ファイルサイ ズは軽くなります。
---	---	--

■圧縮しないTIFF形式よりも「JPEG・ファインモード」に
TIFF形式で記録できるデジタルカメラでは、圧縮せずに画像を記録することができます。
ただし、圧縮しないで記録した画像のファイルサイズはとても膨大です。しかも、肉眼ではファインモード(低圧縮率のJPEG形式)の画質とほとんど変わらないため、特別な理由がない限り、TIFF形式(圧縮なし)よりもJPEG形式のファインモードで十分です。
※ネットプリントサービスでは、TIFF形式の画像に対応していません

Step 4

年賀写真はシンプルな構図が◎!

最後に、構図についてひとこと。
年賀状の全面にプリントする写真は、なるべくシンプルな構図の写真が向いています。
それは、写真の上に、年賀文字やテキストやイラストを重ねて配置し、それら全体でひとつの年賀状という作品になるからです。
通常写真を撮るときの「情景描写」に重きをおくよりも、ヒツジならヒツジのイメージだけに絞った写真の方がインパクトもあり、スッキリした構図で他のオブジェクト(年賀文字やテキストやイラストなど)との編集もしやすくなります。



Success

■シンプルな構図には、クローズアップ写真がオススメ

広角で撮るスナップ写真だと、広く背景が写ってしまい、主役のインパクトが薄れがち。
そこで、望遠レンズでズームアップしたり被写体に近づいたりして、主役だけにクローズアップした構図にしてみるとイイかも!



バッチリ!

